

きびのきと

NO.3 月刊

昭和三十三年九月一日発行(非賣品)
発行所 岡山県都窪郡吉備町庭瀬
(大坊)不度院内 吉備観光協会

第十一輯 山野談 涉島第一號

○ 庭瀬駅を中心にした家庭向 健脚向の「ハイキングコース」

- ① 吉備の中山史蹟めぐり(別冊参照)
- ② 吉備 真金 一宮 コース (一) 約十軒

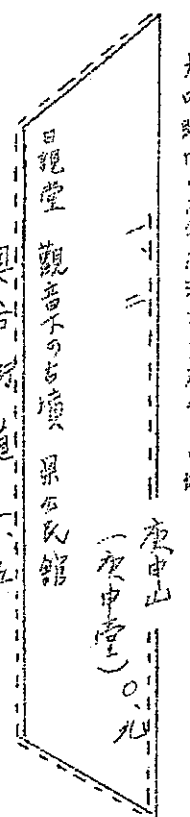
庭瀬駅 不度院 松林寺 庭瀬城址 信成寺
庭瀬本町(バス) 一、〇
撫川城址 (庭瀬古城址)
中田の石宮八幡宮 芝場城の合戦
一、八 (足守街道)

大善本堂公頼の生家 賀陽より旧邸址を真如院、妙智地、吉備津神社
(本堂左側の墓) 二、八 高野寺山門礎石
吉備津御陵 泉公氏館石舟入徳寺、法螺貝の井、藤原成親の墓、吉備津神社
一、二 高野寺山門礎石、吉備津神社

天竺岩 車川古戰場 吉備津彦神社 〇、三 備前一宮駅
大塚 八幡神社
野崎幻庵の墓
大田取の墓 一、二

③ 吉備 真金 一宮 コース (二) 約九軒
庭瀬駅 同上 撫川城址 同上 大善本堂公頼の生家
庭瀬本町(バス) 一、〇 大塚 一、二

大田取の墓、正法寺天神山の古墳
日鏡堂 観音不動古墳 泉公氏館 (夜中堂) 〇、九
吉備津御陵 細谷川の石跡 〇、八
吉備津神社 同上 備前一宮駅 〇、三



同上 福田海 同上 吉備津彦神社 同上 備前一宮駅
〇、九 〇、三

④ 吉備 真金 加茂 一宮 コース 約十一軒

庭瀬駅 同上 撫川城址 同上 大善本堂公頼の生家
庭瀬本町(バス) 一、〇 大善本堂公頼の生家 日鏡堂 観音不動古墳 泉公氏館
三、〇

加茂城址 同上 枝倉古墳場 吉備津神社 細谷川 吉備津御陵 同上 福田海
矢部橋 三、二

同上 吉備津彦神社 同上 備前一宮駅
一、二 〇、三

⑤ 吉備 庄 コース 約十六軒

庭瀬駅 同上 撫川城址 足守川 庄 空福寺 西方寺 受法寺
庭瀬本町(バス) 一、〇 庭瀬本町(バス) 一、〇
南風巻 手形城址 三徳堂
日差山 愚行門天
日差山 愚行門天 一、〇

山崎陸景陣所
神功皇后遺蹟
利生院
兩鬼神社
高島居山
三〇
二〇
三〇
中庄駅

⑤ 吉備 福田 妹尾 コーヌ 約 八軒
庭瀬駅 同上 撫川城址 足守川東堤防 坪井城址 清泉寺 盛隆寺 宇川氏陣屋 須波城址 妹尾駅 三二 一三 三五

⑦ 吉備 早島 コーヌ 約 八軒
庭瀬駅 同上 撫川城址 千手寺 天神山 早島神社 早島公園
庭瀬本町(八八)一〇 四早島街道六八 塚山 早島の古蹟 早島神社 早島公園
千手寺の古蹟 早島城址 高野神社 早島神社 早島神社 早島神社

○庭瀬概説
不 慶院 日蓮宗にして日庭瀬藩主戸川氏の菩提所、俗に大方といふ。
松林寺 臨濟宗にして日庭瀬藩主板倉氏の菩提所である。
信誠寺 日蓮宗にして戸川昭台守の母君日友神尾菩提のため建立。
庭瀬城址 鬼子母神を祀る。
庭瀬藩館跡址 久世 板倉氏百七十年回居
城 濠 濠 濠 石垣など存し、板倉氏の祖重昌重矩を祭る清山神社
がある。

三 四

無川城址 元正の頃毛利氏の部将井上豊右守有景が居城した庭瀬の古城址にして、沼城ともいふ。全園を占められた築城法である。
芝場城址 撫川の古城址にして信に一方ウゲシ城という。松山城主三村氏の創築と傳へられ、今は地所の変更によりてその跡形もな
い。足守川を橋んで三村、宇喜多の両軍が戦った古戦場でも
ある。

日畑城址 元正十年高松の役に毛利氏の部将日畑六郎兵衛景親の居城した所である。
切敷地蔵 昔庭瀬藩主戸川氏が胴侍の部介を割つて持去ったといふ。
日差山 昔日差山廿二坊の堂宇のあった佛蹟地にして思沙門天の石刻がある。山麓の玉墓山の古墳は久遠石の石塔に似て一千年以前のものといはれ、往年副葬品を掘出したことがある。

鷹巣城址 天正十年高松の役に小早川陸景が陣所を置いた所である。
御野立所 明治四十三年十一月陸軍特別大演習の際明治大帝の臨幸になつた所である。
惣爪礎石 昔ここに伽藍があった遺跡にして、その塔の中心柱の礎石である。俗に石の量といふ。附近から古瓦の破片を發掘することある。

加茂城址 現在日全部田圃となる。城は天正十年高松の役に毛利氏の部将上山兵衛助元忠が居城した。
高島居山 二子山は呼名である。昔神功皇后が三韓征伐の後、凱旋の際ここに滞在せられた当時皇子二歳(應神天皇)であったので、後ちに二ツ子の里といふ。影向山は女の遺蹟である。
天正の役には毛利方の日橋八郎左衛門尉が據守した所である。

高島居山 二子山は呼名である。昔神功皇后が三韓征伐の後、凱旋の際ここに滞在せられた当時皇子二歳(應神天皇)であったので、後ちに二ツ子の里といふ。影向山は女の遺蹟である。
天正の役には毛利方の日橋八郎左衛門尉が據守した所である。

松島城址 天正の頃毛利氏の部将梨羽中務丞が城番す。天正八年宇喜多氏の攻撃を受け破れたが奪還し。天正十年高松の役には宇備を配置して後詰したのである。

西鬼神社 昔五社八幡宮といひ、二子の里にあつたが中世期になつて、まの荒神山に遷祀したのである。

坪井城址 永禄の頃坪井左京進なるものが居城す。宇喜多氏に属した。故あつて夜討にされ討死し廢城となつた。善日山中にある。

須波城址 舟永年間千家の部将妹尾大郎兼康の居城した所にして、昔は春日の里といひ、鬼島湾に臨み風光の佳をもつて知られた。煙立つ春日の里は右への難波の御代の気色こそすれ不知讀人俗に大寺といふ。部将妹尾指の大如蓋にして日蓮宗に属す。

盛隆寺 慶長十年四月夜瀬藩主戸川肥右守達安の建立にして境内に戸川家累代ノ墳墓がある。

戸川陣屋址 庭瀬藩主二代戸川正安の子安成がここに分知れた所に、屋敷あとには稲荷社がある。熱然とした石垣が遺つてゐる。

塚山峠茶屋 旧藩時代の四圍へわたる街道である。ここは峠茶屋のあつた所に、旅籠屋もあつて一憩したのである。附近には先人の遺した古墳がある。

早島の陶窯址 昔年農民が耕作中発見したものである。出土の土器から推測して鎌倉時代といはれたい。

磯崎神社 祭神はこの地の開拓者岡豊前守利勝等に天足考命を祀る。俗に躍り堂様といふ。これは異変ある時に白瓶がきて、この堂で躍るといふ傳説から起つたもので、祭典には赤飯を菖草に包んで供する風習がある。

千光寺 眞言宗にして本尊は聖觀世音菩薩を安置す。この地は天正の頃坪井將監なる人の居城址である。將監は天正十年三月廿四日眉山城の戦に攻将加藤清正と渡り合ひ、眞向を切られて討死した勇士である。

薬師院 眞言宗にして本尊は薬師如来である。もと福山寺一山の草坊とあつたが、延元年同南北朝の戦に荒廢し、其石ここに移れたと傳へてゐる。

安養院 眞言宗にして地藏菩薩を本尊とす。もと多聞ヶ鼻といふ所にあつたが、嘉永元年に今の地に移れたといふ。

鷗崎神社 祭神は神武、鸕神、兩天皇にして、もと原風ヶ島八幡宮と稱へたが、應永の頃に吉備津宮の丑寅御崎大明神を勧請し、保祭したので、鷗崎明神ともいつた。明治初年に今の社号に改めた。

妙法寺 日蓮宗にしてもと佛前の屋上堂の妙法堂の所にあつたが、寛文年間、現地に移した。領主戸川氏の帰依によつて、新觀所に定められ、家紋梅鉢を寺紋として、今日に至つてゐる。

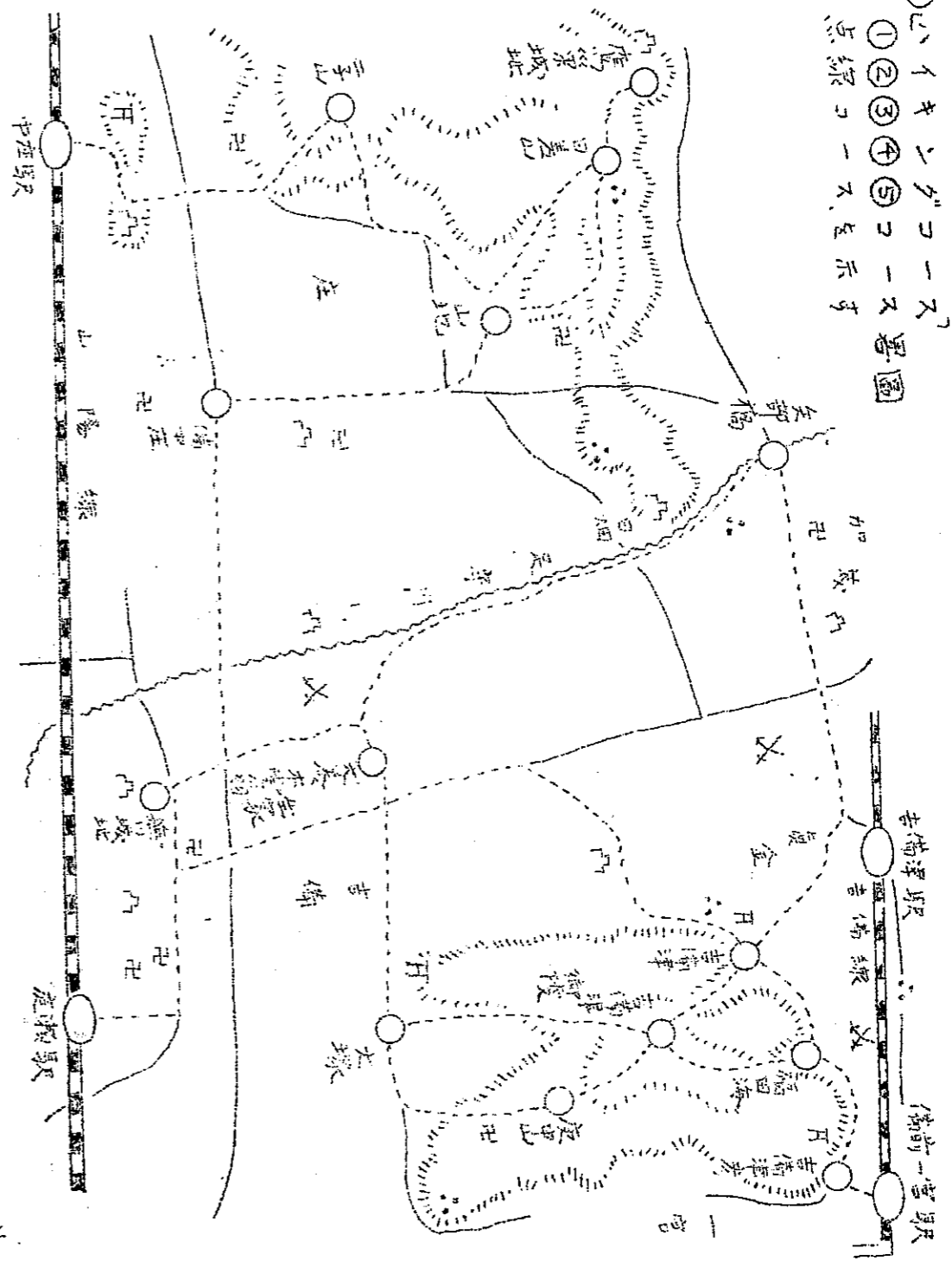
戸川陣屋址 現小學校の西側の石橋が陣屋の入口正門である。早島は庭瀬藩主戸川達安の四男安次が分知した所である。元島、

宮崎城址 鷗崎神社のある丘陵にして、帯江戸川氏の築地である。元島、天正の頃宇喜多氏の臣高島市正貞政が在城して、いたが宇喜多が滅亡して廢城となつた。

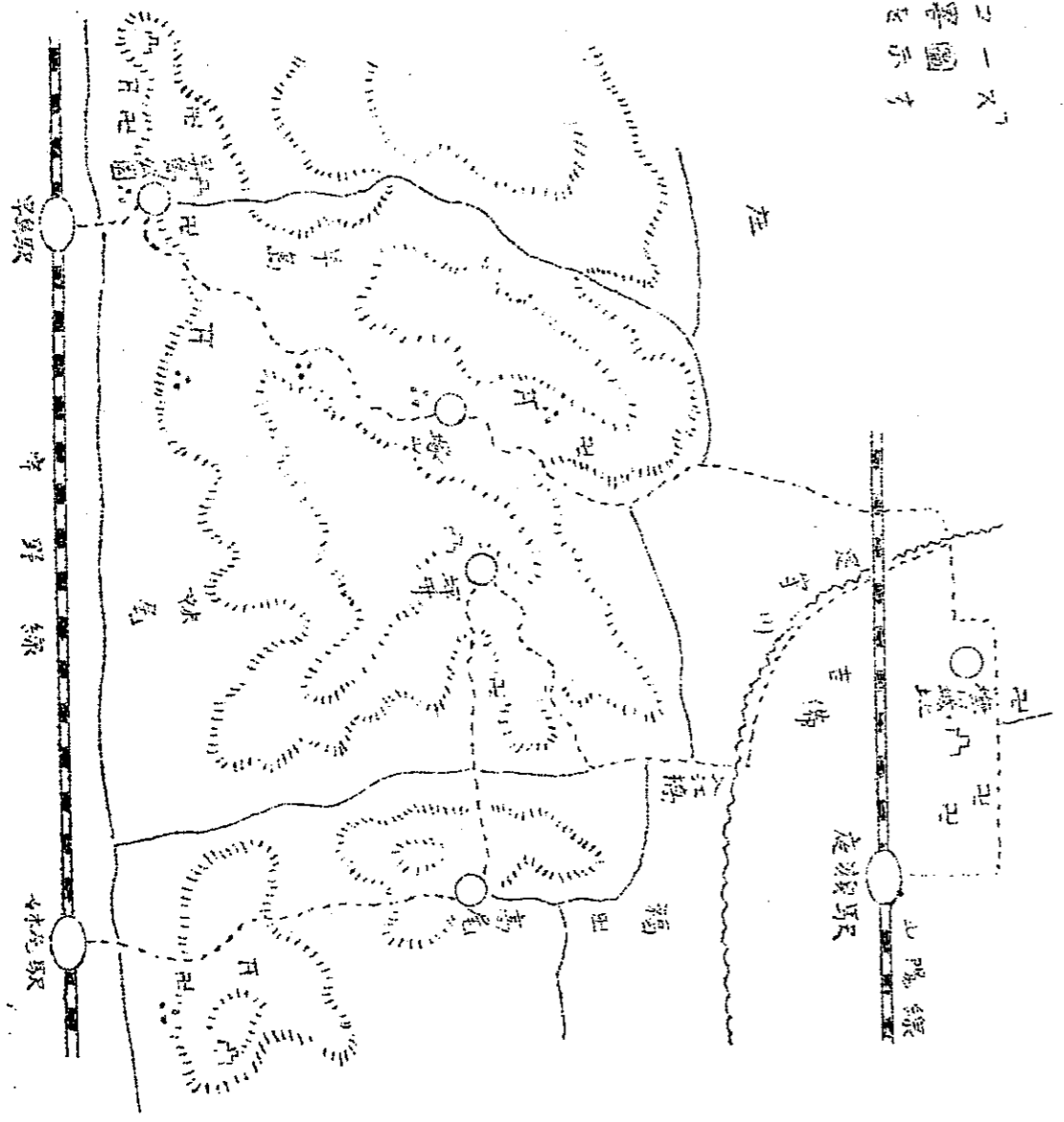
薬師 菴眞言宗にして薬師如来を祭る。往昔境内から温泉が湧出して、いたので山子を温泉山といふ。往昔境内から温泉が湧出して

客膝 菴浄土宗にして本尊は阿彌陀如来である。この菴は菴守社ともいふは、性痴に靈験があるので實するものが多し。

○ハイキングコース
①②③④⑤
点線コースを示す



○ハイキングコース
⑤⑦
点線コースを示す



(山野歩きを盛るなり)